

さらしな学

灯そう
照らそう
寄りそおう

さらしなの歴史文化や 魅力を再発見

いにしえ
古の都人が幻想した地「さらしな」。
母性が投影された冠着山と、
千曲川の荒々しさが重なって
育まれた無限の肥沃と豊穡の地。
その、鮮やかな命の輝きを
浄土から照らし出す善光寺平。
陰影兩岸を眺める暮らしは、古来
歴史、風土、食、文学、芸能に
生命の光彩をはっきり示してきました。
澄んだ心の鏡を、再度磨いてつながる
いにしへの「さらしなの里」の魅力は
一人ひとりを照らす田毎の月の再発見です。

月光で織り上げた更衣を羽織るように…
若者、女性、子どもたちにも解りやすく…
楽しめる内容の濃い講座を…

地域が連携し、つくっていきます！
第一回は冠着山山頂に舞うホタル
についての不思議なお話です。

お楽しみに！

第一回

7月28日(土)

13:30 ~ 15:00

会場 / 姨捨観光会館 月読茶寮
(姨捨山長楽寺向かい、駐車場有り)

参加
無料

講師 **藤山静雄**先生
(信州大学特任教授)

主催
さらしなルネサンス
姨捨観光会館

問合せ
090-4715-3981 宮坂

協力：千曲市川西振興連絡協議会
稲荷山町くらしと心を育む会

第一回「冠着山山頂に棲息するヒメボタル」
講座
始まりです！

第一回 藤山静雄先生

信州大学特任教授、松本ホテル
学会代表、庄内ほたと水辺の会。専門は
動物生態学で、小動物の環境への適応、温度や
光に対する昆虫や小動物の生活と歴史などに詳しい。

冠着山山頂には、希少種の「ヒメボタル」が命をつないで
います。真っ暗な闇に、たくさんの小さな光を放ちながら
乱舞するヒメボタル。川のない山頂になぜ蛍が群生して
いるのでしょうか。自然界（気象条件）の微妙なバラン
スと小さな命についても考えます。

第二回 竹内整一先生

東京大学名誉教授（倫理学）。日本人の精神史
をさかのぼり、現在にどのようにつながっているのか
を探究。「さらしなルネサンス」顧問。NHK 高校講
座「倫理」講師、「サイエンス・ゼロ」コメンテーター、「日
めぐり万葉集」選者などを務めた。専門は倫理学・日本思想。

風とかなしみ 芭蕉「さらしな紀行」を読む

330年前の8月半ば、芭蕉は「さらしなの里、姨捨山の月見んこと、
しきりにすすむる秋風の心に吹きさわぎて」『さらしな紀行』の旅に出
ました。その旅・月・里は芭蕉の心にどんな「風とかなしみ」をもたら
したのでしょうか。芭蕉の詠んだ句やさらしなの歴史・風土などから考
えてみます。奥の細道への旅はその翌年のことでした。第35回信
州さらしな・おばすて観月祭参加講座。姨捨観光会館・参加無料

9月22日(土)17:00~18:30

ルネサンス月見会

10月24日(水)17:30~

会場 さらしなの里展望館（千曲市羽尾1165-2）
料金 2,500円 ●申込み 026-276-5933 土水まで

「さらしなルネサンス」は、信州千曲市に残る「さらしな」
という地名を地域づくりにいかす活動を展開しています。
冠着山のふもとに広がるさらしなの里の魅力をさらにブラッシュ
アップし、市民が交流しながら、文化・教育、経済の中に活用
することを目指して活動しています。「さらしな」の歴史文化や魅力を
再発見するために、ホームページ（<http://sarashina-r.com/>）を開設。
市との協働事業として冊子「美しさらな」、絵本『さらちゃん』も刊行しています。